



令和5年度 中地区
幼保小教育交流事業活動報告

活動テーマ

子どもの育ちと学びをつなぐ

交流事業対象の園・校数

- こども園 2園
- 幼稚園 12園
- 保育所 27園
- 小学校 10校

健やか子育て講演会

演題『**あなたの言葉で子どもは育つ**』
株式会社コペル代表取締役社長
大坪 信之 氏

子どもに誤解を与えない言葉かけとは

5つのポイント

1 無条件の愛を与え、子どもを尊重して育てる。

2 子どもの中に必要な力があると信じる。

3 一緒に喜び、一緒に感動、暖かく見守る。

4 知育に偏らず、徳育を大切に。

5 あるがままの姿を認めて、比較をしない。

もの中に必要な力がある。

3 一緒に喜び、一緒に感動、暖かく見守る。

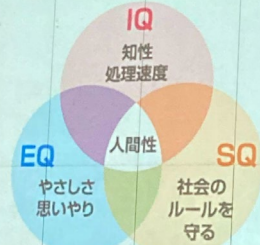
知育に偏らず、徳育を大切に。

5 あるがままの姿を認めて、比較をしない。

才能は環境が決める



“志”が全脳開発のポイント



アメやムチの躰がうまくいなくなる理由

子	親	・1歳(親=神)
子	親	・3歳(親=偉大)
子	親	・8歳~16歳
子	親	・18歳~

無条件の愛

⇒子どもが成長するうえで、一番大切なものは無条件の愛。子どもが言うことを聞いたから褒めるのではなく、ただ、そこにいるだけで「ママは、幸せよ」と抱きしめる。

あなたはあなたのままでいい

無条件の愛を表現する言葉である。
「何があっても、ママはいつも味方よ」「生まれてきてくれてありがとう」
⇒無条件の愛を表現する言葉を伝え続けることが重要。子どもは愛を感じ、安心感を得ることができる。最高にしあわせな気持ちになる。
⇒自分を信じるようになる。

あなたは本当に素晴らしい!

⇒あるがままの姿を認める言葉。

子ども肯には、肯定的な言葉をかけることが重要

⇒かけられた言葉通りになるから。子どもは、みんな生まれながらの天才。子どもには、無限の可能性が眠っている、と信じましょう。そうすることで子どもは持っている能力を発揮できる。

子どもの自立+自律のための親子ノート

- ノート1冊用意して初めのページに下記ルールを記入します
 - 1. 親子でも話し合いの中では対等の立場でいること
 - 2. 反対の時は新しい案を出すこと
 - 3. 相手が話している間は口を開かないこと
 - 4. 水掛け論となった場合は終わりにすること
 - 5. 全員の意見が一致するまで決めないこと
 - 6. 家族の誰でも会議を招集することができるようにすること
 - 7. 全員参加、参加しなければ結果に賛成すること
 - 8. 親子ノートの内容は一貫性を持って守ること
- ※自分が決めた家族のルールなので守る事ができるようにする
→第2感情による言い争い可能性の最小化

Aブロック活動報告(本牧小学校)

山頂公園での
出会いの工夫



一緒に遊ぼう！
・・・でも気付いたら
1年生だけで遊んじゃった。



今回は、1年生だけにならなかつた。でも、もっと何がしたいか聞いてあげればよかったな。



「1ねんせい ちょびっと やってみようの会」をして、
1年生になるのがたのしみになるようにしよう!

べんきょうしたことを
教えようかな。

一緒に折り紙をして
遊びたいな。

保育園に電話して聞いてみよう!

保育園に来て、年長さん
たちに聞いてみたら？
って言われたよ。

保育園の子に聞いて
みた方がいいんじゃないかな。

保育園への訪問



違う園ではあつたけれど、2回の交流で、年長さんたちとなかよくしたい、年長さんたちに学校のことを教えたいという気持ちが高まってきた。



〇〇ちゃんが、「しゅくだいが
しんばい」って言っていたよ。
大丈夫だよって言ってあげたいな。

保育園に訪問することで、
保育園の生活の仕方や環境と小学校との違いを再確認することができた。それによって、自分たちも初めはそう思っていたということ思い出し、「できるようになったよ。」ということ伝えていたという思いをもっていた。

2月後半から、年長さんたちに学校に来てもらい、学校のことを教える会をする予定。年長さんたちのドキドキが減るといいなと、1年生も楽しみに待っています。

Aブロック 本牧南小

「あきいっぱいまつり(11月)」

ルンビニ幼稚園・和光幼稚園・高風保育園・
錦保育園・アスク本牧保育園
・すいとび保育園

年長さんが楽しめるような遊びやルールを
考えて、お店屋さんを開きました。遊び
方を教えたり、一緒に遊びを楽しんだり
しました。



「一緒に横浜本牧駅へ(9月)」

和光幼稚園

横浜本牧駅で初めて幼保小の交流を
行いました。駅について教えてもらっ
たり、ディーゼル機関車やSL機関車
に乗ったりしました。移動するとき
は手をつないでいたり、子どもたち同
士で話したりするなど、あたたかい関
わりがたくさんありました。



「なかよし会(2月)」

和光幼稚園



和光幼稚園から招待状が届き、一緒
に様々な遊びを楽しみました。1年生
からは「小学校生活、心配いらないよ、
楽しもうね」の気持ちを込めて手作り
キーホルダーをプレゼントしました。

「運動会演技の見合い(10月)」

高風保育園



運動会の演技の見合いを行って感想
を伝え合ったり、じゃんけん列車や、
ばくだんゲームを楽しみました。

Bブロック

(大鳥小学校・アソカ幼稚園・木下の保育園本牧・早苗幼稚園)

①夏休み明けからクラスごとに、アソカ幼稚園、木下の保育園本牧、早苗幼稚園との交流を行った。小学校とそれぞれの園との職員で、したいことやつきたい力を出し合い活動を考えて1回ずつ実施した。

アソカ幼稚園との交流



1年生が夏祭りをしたいと話題に出していたことをきっかけに、アソカ幼稚園の年長を招待しようということになった。1年生は幼稚園や保育園でのお祭りの経験を生かしながら準備を進め、当日は一緒に盆踊りを踊ったりお店屋さんをしたりした。アソカ幼稚園でも交流の後にアソカ祭りがあったので、そのお祭りへの意欲の高まりにつながった。

木下の保育園本牧との交流



1年生の「年長さんと公園でおもいっきり遊びたい。年長が好きなことを一緒にやりたい。」という思いから山頂公園に一緒に遊びに行った。そこでどんぐりを拾い、工作をすることにした。ペアのことを思い、何をしたら楽しんでもらえるかを考えて、1年生と木下の保育園の年長と一緒に楽しみながら交流を行った。

早苗幼稚園との交流



1年生は「ペアと仲良くなりたい。」という思いを強く持っており、年長が本校の校庭で運動会の練習をしている様子を見て、「頑張っている年長を楽しませてあげたい。」と秋祭りを計画した。これまでの経験を生かしながら、魚釣りやわたあめやさんを準備した。ペア以外の子ども同士が関わることができる交流となった。

②2月に大鳥小学校に3園を招いて「学校のことをおしえるねの会」を開いた。入学が近づいた年長に、1年生のことを教えるための会を1年生が準備をした。



体育館では、歌の発表をしたりゲームをしたりした。1度目に行った交流のときにつくっていたペアで、学校探検をしたり1年生のことを教える活動を行ったりした。1年生は、年長に伝えたいことを一人一人考え、自分の好きな学校の教室を見せに行ったり、得意なことを披露したりと工夫をしながら活動をしていた。来年度は職員同士の研修や給食交流など、交流を増やしていきたい。



Bブロック(北方小) 「ようこそ きたがたしょうがっこうへ」

・山手保育園 ・新山下二丁目保育所 ・うちゅうこども園やまて ・うみの風保育園

11月 なかよくなろう

1年生3クラスでそれぞれの園と、体育館や校庭で交流しました。チューリップの球根を一緒に植えました。「ラーメン体操」を一緒に踊ったり、「じゃんけん列車」をして遊んだりしました。お別れ 때에는、お互いに「また会おうね」と手を振るくらい、仲よくなることができました。



1月 しょうがっこうは たのしいよ

11月に決めたペアで、2度目の交流をしました。お互いに顔や名前を覚えていた子どもたちも多く、さらに仲よくなることができました。保健室や図書館などの部屋を案内する「がっこうあんない」や、1年生の教室で、1年生の座席に園児が座ったり、ランドセルを背負う体験をしたりする「1ねんせいたいけん」を行いました。1年生は喜んでもらえるためにどんな活動にするのかを話し合い、活動内容を決めていきました。



山手保育園とは、1年生と年長児との交流会の他に、合同避難訓練(11月)や、5年生と年長児との交流会(2月)を行うことができました。

Cブロック(立野小)

ようこそ わたしたちの 学校へ

立野小学校では、1年生、2年生、5年生の子どもたちが交流しました。1年生は、年長の子どもたちを音楽会のリハーサルに招待し、合唱を披露しました。2年生は、自分たちの作ったおもちゃで遊んでもらったり、大すきな立野のまちについて紹介したりしました。5年生は、園児たちと一緒に遊びました。子どもたちは、園児たちと実際に顔を合わせて交流することで、入学することが楽しみになってほしいという思いをふくらませ、安心して学校に来るために必要な声かけや活動を真剣に考えるようになりました。年長児の入学を心待ちにし、「早く会いたいなあ。」と話す子どもたちの姿も見られるようになりました。

音楽会は楽しいよ。すてきな歌声をとどけるね。



立野のまちについてクイズで紹介します。

園の子どもたちってかわいい。優しく触れ合いたいな。



絵本の購入

Cブロックの「竹之丸保育園」「さゆり幼稚園」「立野小学校」で同じ絵本を購入し、配架しました。入学前にそれぞれの園で読み聞かせを行うことで、入学後に知っているものがあるという安心感に繋がるようにしました。

職員の交流

本校で開催された全国小学校理科研究協議会研究大会に各園の先生方を招待し、1年生から6年生までの全クラスの子どもたちの様子を参観していただきました。また、午後から行われた生活科分科会では、園の先生方の提案を聞き、接続期の子どもたちの様子について、交流する時間が設けられました。



学校紹介&探検



みなとみらい本町小学校では、「アスク馬車道保育園」「熊猫幼稚園」が本校に来校して学校内を見て回りました。来校した時には、1年生が出迎えて作った折り紙を渡して出迎えました。

お手紙&絵本で交流



距離が遠く来校が難しい幼稚園、保育園には、「1ねんせいになったら」という絵本と子どもたちからの手紙を添えて送付しました。年長児の先生を通して園児のみなさんに読んでもらうことで、ご家庭で小学校の生活をイメージするきっかけになったようです。

本校の子どもたちも少しお兄さん、お姉さんの意識がこの活動を通して芽生え始めて来年に向けて期待を膨らませていました。

山元小学校ブロック 幼保小交流の概要

～教員も子どももたくさん交流しました！～

教員同士の交流



本校では、7月28日に、國學院大学の吉永先生を招いて、接続期カリキュラム研修を行いました。山元小ブロックの幼稚園・保育園の先生方はもちろん、近隣校や市内の先生方にも参加していただき、架け橋カリキュラムについて意見を出し合いました。

交流会をもつ前には、教員同士で電話やメールのやり取りをし、園の要望を聞いたり、1年生が年長さんに「教える」交流会ではなく、1年生と年長さんが「仲良くなる」交流会にしたいという、こちらの意図を伝えたりしました。

休み時間を利用した交流をすることで、卒園した子どもたちの成長も見てもらうことができました。大きくなった姿に、喜びを感じてもらうことができました。

子ども同士の交流

もうすぐ1年生が入ってくるね。私たちが小学校に入るとき、心配なことが3つあったよ。
①友達ができるかな②先生は怖くないかな
③給食は食べられるかな
って。年長さんも心配かもしれないよ。

よし、秋遊びで楽しかったマラカスを作って、みんなで楽しむぞ！

まずは学校探検だ！
行きたいところはある？

お勉強しているところを見てみたいな。

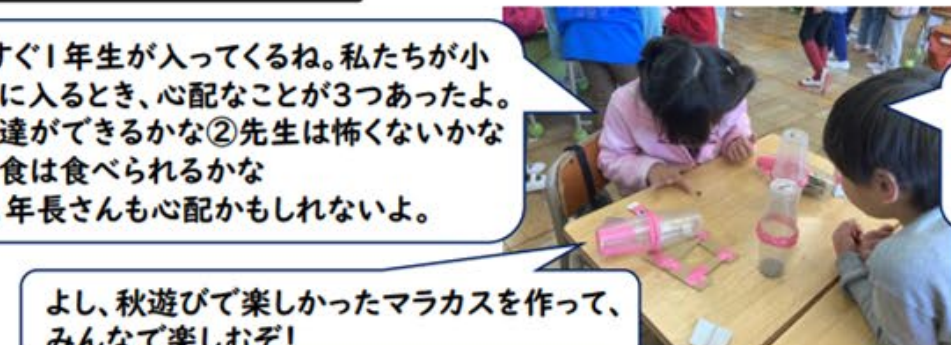
そうだ、年長さん呼んで、みんなでお祭りを開いたら、みんな仲良しになれて、心配もなくなるんじゃないかな。
学校を案内して、先生も紹介しようよ。

休みじかんだって！園にはないいろいろな遊び道具があるよ。楽しそう！

6年生が遊んでくれたよ。優しいお兄さんがたくさんいて嬉しいな。

学校ってとっても楽しいな。お姉さん折り紙上手だね。私も上手になりたいな。

ぼくたちとっても仲良しになれたね。もっともっと一緒に遊びたいな。また絶対に来るからね！



焼き芋を年長さんといっしょに作って食べたい！！ 「コスモス組（年長）さんと なかよし交流会をひらこう①」

焼き芋を作っている間に年長さんに小学校のことを知ってもらおう。



学校の農園でサツマイモがいっぱいとれました。とったサツマイモで焼き芋を作りたいな、という話をしていると、「山元町保育園のときに作ったよ。」という発言があり、「山元町保育園のみんなと一緒に焼き芋を作って食べたい。」という思いが生まれました。

山元町保育園との打ち合わせで、焼き芋ができるまで2時間くらいかかるので、焼き芋を焼いている間に年長さんに山元小学校に来てもらって、学校探検をしたり、学校の活動を体験したりしてもらおう、ということになりました。山元町保育園の年長さんからも「いつもは保育園から山元小を見ているから、山元小から保育園を見たい。」という声があがっていることを知り、学校探検では農園に行って、そこから保育園を見よう、ということになりました。

交流会の日は雪のため、焼き芋を作ることはできませんでした。でも、山元小学校のことを体験してもらう活動は、はりきって準備していたので、学校に来てもらって実施することにしました。



この日の参加者は山元小1年1組が21名、山元町保育園の年長さんも21名だったので、1対1でペアを作って手をつないで学校まで行きました。

小学校では、学校探検チーム、読み聞かせチーム、給食体験チームの3つに分かれて準備をしました。

当日は山元町保育園の年長さんが3グループに分かれて、20分ずつ3つの活動をローテーションで回って体験しました。



学校探検チームが自分たちのおすすめの場所をよく考えて紹介したり、読み聞かせチームが図書室の司書の先生と相談しながら本や紙芝居を決めたり、給食体験チームがパン・ごはん、大きいおかず、デザート、飲み物を、本当に給食にでるメニューの中から好きなものを選んでもらえるように、自分たちのおすすめのメニューを決めてカードを作ったりして、年長さんが小学校のことを知ったり、学校生活を楽しみになれるように相手意識をもって活動を考えることができました。学校探検チームの児童はストップウォッチをもって、時間を考えながら校内を回ることができました。



焼き芋を年長さんといっしょに作って食べたい！！ 「コスモス組（年長）さんと なかよし交流会をひらこう②」

雪でできなかった焼き芋のリベンジ



積雪のため、焼き芋ができませんでしたので、山元町保育園と相談して、2回目の交流会を開くことができました。

前は山元小を案内したり探検したりしたので、今回は山元町保育園の園庭で遊んだり、山元小にはない施設を見たりしました。



待ちに待った焼き芋が完成しました。熱々の焼き芋はおいしいね。たくさん焼けたので、何回もおかわりした子がいました。



山元町保育園と山元小の農園との間にあるフェンスを通過して、お互いに行き来しながら交流しました。



前回のペアと一緒に活動しました。前回の活動で名前を覚えたので、すぐに打ち解けて仲よく過ごしている姿が見えました。



念願の焼き芋をいっしょに食べることができました。焼き芋をやくために、落ち葉もいっぱい集めて準備しました。2回目の交流ができたので、保育園の子との仲も深めることができ、新年度が楽しみです。



○ブロック活動報告

間門小学校 ルンビニ幼稚園 錦保育園 太陽の子不動下保育園



令和5年11月17日

幼稚園・保育園 園長様

横浜市立間門小学校
校長 中尾 和世
担当 木下 英子

間門小学校 1年生と年長さんの交流について

木々の色づきも深まるとともに寒さも増し、早くも冬の訪れを感じる季節となりました。
インフルエンザの流行は心配ですが、コロナ明けから制限なしの生活が戻りつつあります。そこで、間門小学校では、1年生の入学にあたり、安心して学校生活を送ってほしいと願い、年長さんとの交流会を実施いたします。既1年生も、それぞれの園で大切に育てていただき伸び伸びと学校生活を送っております。ありがとうございます。健康面を一番に考え、安心して交流ができたらと考えております。
ご検討いただき、必要事項をご記入の上FAXにてご返信いただけるとありがたいです。ご質問等ありましたら、間門小学校 木下（児童支援専任・1年学年主任）までご連絡ください。（☎622-0005）。

横浜市立間門小学校 木下 宛て FAX 045(622)5949

園名	本校への方針	代表者名と印字捺印人数
	例) 園バス 徒歩等	〇代表者
		様
		名

※1月から3回の交流を予定しています。参加の園数は、お任せいたします。

内 容	日 時	参加〇 不参加×	園児の人数
① 国語科 「ものの名まえ」 ・お宿題さんにご招待	1月30日(火) 9:45~11:00		
② 図画工作科 「よきよきとびだせ」 ・作品でいっしょに遊ぼう	2月20日(火) 9:45~11:00		
③ 生活科 「もうすぐみんな2年生」 ・できるようにしたこと 発表会 ・学校保健	3月5日(水) 9:45~11:00		

11/30(木)までに、ご返信いただける。

感染症の対策を考えながら、以前のように積極的な交流を計画してみました。3回の交流日を提示しブロックの園を含めた、10園に声をかけました。どの園も快く返事を下さり、1回目を1月20日に行いました。6園150名ほどに来ていただき、国語の学習「ものの名まえ」で、お店屋さんを招待しました。はじめの会、終わりの会を体育館で行い、各教室でお買い物をしてもらいました。実行委員を立て、子どもたち主体の会になるように進めていきました。

1年生の子どもたちは、自分たちでお店屋さんを開き、成果と課題を考えました。「年長さんに喜んでもらいたい。」「すごいって思ってもらいたい。」という相手意識をもつことができました。「買えない人がいないようにたくさん作らなきゃ。」「笑顔でいらっしやいませって言った方が、いいよね。」「困ったことがあったらすぐに行けるようによく見ておかないでね。」等、すてきなかわりをしようと一生懸命考えていました。やらされている活動ではなく、やりたいた活動そして、次につなげる活動になるように考えていきたいと思ひます。

E ブ ロ ッ ク 活 動 報 告

元街小学校 横浜三育幼稚園 横浜みこころ幼稚園 横浜学園附属元町幼稚園
横濱中華幼保園 アメリカ山徳育こども園 アスク山下町保育園 うちゅう保育園やました
木下の保育園山下町 ラフ・クルー元町保育園

小学校授業参観・保育園見学

5月には、幼稚園・保育園の教諭・保育士の方々が1年生の授業を参観し、卒園生たちの入学後の様子を参観しました。また、夏休みには、小学校教諭が保育園見学を行いました。1年生担任のみでなく、中・高学年担任や国際教室担当者も参加し、園児の活動の様子や保育士の方々が園児にどのような関わられているのかを理解することができました。改めて園と小学校の接続の大切さを実感しました。

1年生が生活科「あきであそぼう」の学習で秋の植物等使った遊びを考え、園児と一緒に遊びました。1年生にとっては、園児に遊びを伝えることができたという自信に、園児にとっては小学校での活動を体験したよい機会となりました。



「ようこそ元街小学校へ～これが1年生です～」交流では、1年生が「小学校は楽しいところ。安心して入学してほしい。」という思いを園児に伝えようと学習や学校生活の様子を紹介しました。園児からは、「小学校に入学するのが楽しみになった。」という感想を聞くことができました。

成果と課題 来年度に向けて

- ・たくさん交流ができてよかった。子どもたちも楽しんでいた。
- ・日程調整が難しかったが、たくさん交流を行っていききたい。